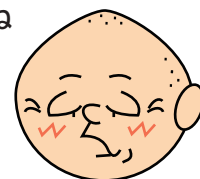


里海について①

NPO 法人 里海づくり研究会議
理事 田中 丈裕

今や全国各地に広がりつつある里海への取り組み。その里海について NPO 法人「里海づくり研究会議」の田中理事に教えていただきました。

なんでも聞いて下さいね
よろしくおねがいします♪



Q1：里海って何ですか？

A：「人手が加わることにより生物生産性と生物多様性が高くなった沿岸海域」。簡単に言うと「人が関わる事で様々な種類の生き物が豊かに暮らす海」です。九州大学名誉教授の柳哲雄先生によって 1998 年に提唱され、今や“Satoumi”として国際的にも注目を浴びています。



Q2：里海はどうやって生まれたの？

A：里海という考えの発端は、なんと江戸時代の沿岸漁業の管理方法からなっています。当時は沿岸部の漁場は地元の漁村が独占してもよいということになっており、一方、沖の漁場はみんなが自由に利用できるとされていました。この慣習が今の日本の漁業法にもそのまま受け継がれているために、日本の漁師さん達には“自分たちの漁場、自分たちの海は自分たちで守る”という意識が産み出され、この考え方が代々引き継がれてきたのです。



Q3：“里海”と“里山”はどう違うの？

A：両方とも人の手を加えて生物多様性を高めますがアプローチの仕方が少し違います。

“里山”は生物が生息する場所が単純にならないように(生える樹の種類が減らないように)人手を加えます。一方、“里海”は生物が生息する大小様々な場所を維持、新しく創るように人手を加えます。



Q4：何故、今、里海なの？

A：昔は漁師さん達の管理によって豊かな海が保たれていました。しかし、現在ではその管理する漁師さんの人数が減少してしまい、十分に管理しきれなくなってきました。海の問題は漁師さん達だけの問題ではなく、みんなの問題です。

今、人が海とどう関わっていけば良いのかが問われています。そしてこの難問を解決するのに非常に有効な考え方が“里海”なのです。



里海を創るにはどうしたらいいの？
どうやって進めていくの？
私達はどうしたらいいの？

ん～今回は長くなったので
又次回にお答えしましょう



第21時限目につづく